

「地球環境と世界市民」国際協会第7回大会

日本・タイ国際会議：環境教育を通じた日本・タイの大学連携

カリキュラム，フィールドワーク，人材交流等をめぐって

ご 案 内

来たる2004年5月19日(水)に標記国際会議を開催致します。本会議では、タイのプラナコーン=ラジャバト王立大学より5名の先生と1名の大学院生をお招きし、環境教育活動におけるカリキュラム、フィールドワーク、人材交流等の視点からアプローチした大学連携をはかることを目的とします。

ラジャバト王立大学はタイでも有数の教員養成系大学として知られ、最も伝統のあるプラナコーン=ラジャバト王立大学においては、「環境教育センター」を中心に環境教育の人材育成も積極的に行なわれています。また、2004年度より「甲南大学環境総合研究所」の設置にあたり、環境教育研究機関・諸大学と連携して、環境教育学へのグローバル・スタンダード化の推進を行なうものとしたと考えております。

招待講演においては、Siriwat Soondarotok氏(プラナコーン大学環境教育センター長/国際協会・理事)よりプラナコーン大学の環境教育センターで実際に行なわれている環境教育のカリキュラム、フィールドワークを紹介いただくとともに、環境教育センターを中心として行なわれているオーストラリアとの人材交流と人材育成の事例について講演していただきます。基調講演において、谷口文章氏(甲南大学環境総合研究所・所長/国際協会・会長)より「環境教育の国際的な大学連携の試み カナダ・ヴィクトリア大学環境学部フィールド・コースの事例より」について講演していただきます。またパネル・ディスカッションでは、「環境教育を通じた日本・タイの大学連携 カリキュラム，フィールドワーク，人材交流等をめぐって」のテーマのもと、日本とタイにおける大学の環境教育カリキュラム、フィールドワークの事例を共有化し、人材交流等についてディスカッションする予定です。

さらに、サテライト・シンポジウムでは日本・タイ学生フォーラムを企画しております。「大学生による環境教育活動とその展開 循環型コミュニティの創造とパートナーシップの構築をめざして」のテーマのもと、プラナコーン大学と甲南大学で行なわれている環境教育の取組について報告し、今後目指される大学での環境教育について学生達の視点から情報交流を行ないます。

本大会開催に至るまでの経緯として、1996年に開催されました国際シンポジウム「環境倫理と環境教育 - 人と自然の共生をめざして -」(於：甲南大学)では、Laddawan Kanhasuwan氏(プラナコーン大学環境教育センター・元センター長)をお招きしました。1998年に国際シンポジウム「環境倫理と環境教育 - 科学技術と人間性をめぐって -」(於：甲南大学)が開催され、Siriwat Soondarotok氏をお招きしました。さらに2000年には、日本・タイ国際会議「環境倫理と環境教育」をプラナコーン大学で開催し、会議終了後、エコ・ツアーを行ないました。カオヤイ国立自然公園に訪れ、自然体験プログラムを経験し、またUNESCO/PROAP(アジア・太平洋地域教育事務所)等を訪問しました。また全ツアーを通して、タイの歴史や伝統に触れ、文化交流を行ないました。

本大会を通じて、さらなる両国のパートナーシップの構築とともに、カリキュラム研究、フィールドワークにおけるモデル事例の共有化、さらに今日重要とされているソフト面の人材交流においても、示唆の多いディスカッションが展開されることを予定しております。

皆様の多くの御参加をお待ちしております。

会 期：2004年5月19日(水) 12:50～17:50 懇親会 18:30～20:30

会 場：甲南大学(10号館10-21教室)

主 催：「地球環境と世界市民」国際協会・甲南大学環境総合研究所・甲南学園平生太郎科学研究
「環境学の統合化の研究 学部横断カリキュラムの体系化と環境教育の国際的ガイドライン構築の試み」

共 催：プラナコーン=ラジャバト王立大学環境教育センター・日本環境教育学会関西支部

後 援：日本環境教育学会

参 加 費：500円[資料代]

懇親会費：一般：3,000円 学生：2,000円

プ ロ グ ラ ム

12:20	受 付 (10号館2階)	
12:50	開 演	
12:55 ~ 13:00	開会挨拶 谷口 文章 氏 (「地球環境と世界市民」国際協会・会長)	
13:00 ~ 13:40	招待講演「プラナコーン=ラジャバト王立大学・環境教育センターにおける取組 オーストラリアとのパートナーシップの事例より」	【通訳あり】
	Siriwat Soondarotok 氏 (プラナコーン=ラジャバト王立大学環境教育センター長/国際協会・理事)	
13:40 ~ 14:35	サテライト・シンポジウム：日本・タイ学生フォーラム	【英語のみ】
	「大学生による環境教育活動とその展開 循環型コミュニティの創造とパートナーシップの構築をめざして」	
	コーディネーター：谷口 文章 氏 (甲南大学・教授)	
	日本側発表：「甲南大学における環境教育実践報告と今後の展望」 岡田 泰典 氏・桔梗 佑子 氏・松田 拓也 氏・藤井 孝明 氏 (甲南大学・大学院)	
	タイ側発表：「プラナコーン大学における環境教育活動の報告とその成果」 Artorn Thongprasong 氏 (プラナコーン=ラジャバト王立大学・大学院)	
14:35 ~ 14:50	休 憩	
14:50 ~ 15:40	基調講演「環境教育の国際的な大学連携の試み カナダ・ヴィクトリア大学環境学部フィールド・コースの事例より」	【通訳あり】
	谷口文章氏 (「地球環境と世界市民」国際協会・会長)	
15:40 ~ 15:50	休 憩	
15:50 ~ 17:50	パネル・ディスカッション「環境教育を通じた日本・タイの大学連携 カリキュラム，フィールドワーク，人材交流等をめぐって」	【通訳あり】
	コーディネーター：谷口 文章 氏 (甲南大学環境総合研究所・所長)	
	パネリスト： Siriwat Soondarotok 氏 (プラナコーン=ラジャバト王立大学環境教育センター長) 「環境教育センターにおけるカリキュラムの開発とその展開」 Chinatat Nagasinha 氏 (プラナコーン=ラジャバト王立大学) 「大学教育におけるフィールドワークの内容と課題」 Hataya Netayarak 氏 (プラナコーン=ラジャバト王立大学) 「環境教育における人材交流と環境教育活動のネットワーク化」 *共同研究者：Chintana Soondarotok 氏 (同大学) Chaweewan Heamnak 氏 (同大学) 藤原三枝子氏 (甲南大学 助教授)「日本とドイツにみる環境教育カリキュラムの比較」	
17:50	閉会挨拶 谷口 文章 氏	
18:30 ~ 20:30	懇 親 会 (甲南大学生協レストラン2階)	

*通訳：康 典子 氏

申 込 方 法

1) 名前, 所属, 連絡先住所, 電話・FAX, E-mail (同行者につきましても、左記をご記入ください)

2) 懇親会の参加・不参加

上記項目を御記載の上、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法で、5月17日(月)迄に事務局にお申込み
ください。

(問合先)「地球環境と世界市民」国際協会事務局

〒658 8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 甲南大学文学部 谷口研究室気付

TEL/FAX : 078-435-2368

E-mail : fumiaki@konan-u.ac.jp